

のドミニック氏等が横断幕を持って出迎えに来てくれた。まずは親切な心に感謝した。早速に4 River Culture Center へ向かい、別途シアトル経由で来た視察団一行と合流したのちに、各自、ステイ先へ荷物を置きに行く。

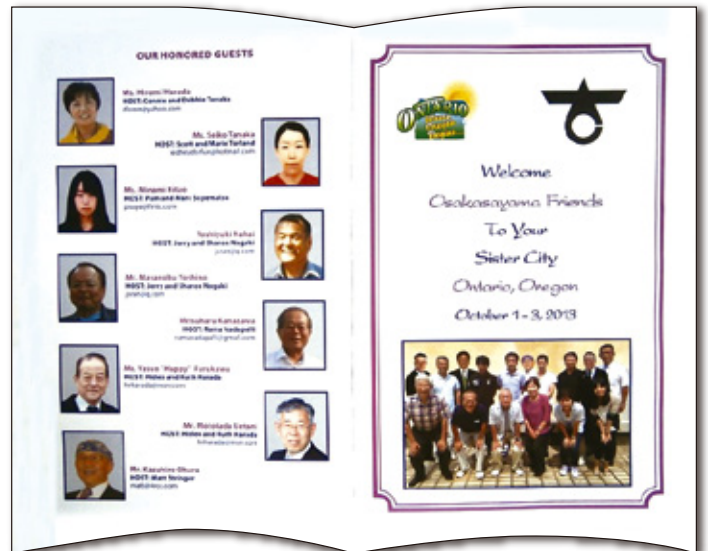
私のHostはMatt Stringer氏。6月に来日されて既にお会いしている人。親父さんも兄さんも郊外で大規模な羊牧場を経営していた。ジャーナリズム学や経営学の学位をお持ち。オンタリオ市の出身だが、28年間ニューヨークでレコード関係のお仕事をしていたらしい。忙しい都会仕事に飽きて故郷に戻ってきた。都会での高給を捨てて、田舎の文化センターで勤務するのは少し勿体ない感じがするが、彼の人生の生き方なのだろう。今のお仕事(文化会館の専務理事)にご満足の様子。家はオンタリオ市でも高級住宅地にあった。愛用車はメルセデス。ご家族は4人とのことだが、一緒に住んでいる訳ではない。郊外には母親が一人で住んでいて、通常は週に3日ぐらいは母親の家で泊るのだが、Oharaが来るので、今週は毎日留まっているとのこと。50歳は過ぎているのに独身。ハイキングや旅行が大好きで、ヨーロッパやタイ、カンボジアなど多くの国々へ旅行した経験があるとのこと。旅行好きなのは私ととても似ているようだ。ホームステイ先の彼の家は、実に整然としていて、趣味のレコードなどが置かれていた。寝室は静かで熟睡ができたが、ベッドが異様に高く、杵をもって飛び乗る必要があった。



## 8) Welcome Party への出席

午後6時から、文化センターでホストファミリーと日本からの訪問者が出席してWelcome Receptionが開催された。同行の古川安男氏と上谷元忠氏は原田夫妻がホストだった。当初は3人でお世話になる予定だったが、3人だと嵩が高いこともあり、今年の来日時にお会いして事のあるMatt氏にお世話になることになった。一方、多くの訪問者は日系の方の家庭にホームステイした。あまり、日系アメリ

カ人への依存が偏りすぎると今後の発展性が阻害されるように思われる。世代が変わると考え方も変わるだろう。日系人3世、4世が増えてくると日本語が必ずしも通じなくなるはず。会合は時間通り午後7時半には終了し、各自ホストファミリー宅に帰って行った。Matt氏のご自宅は文化センターから車で10分足らずの便利な場所にあった。



## 9) Ontario市内見学

文化センターへの集合時間が8:45だったので、7時半に起床。既にMatt氏は起きていた。独身の彼は朝食を摂らない。4日間お世話になったが、初日だけはシリアルに牛乳をかけて、日本製よりも濃厚なオレンジジュースを頂いたが、2日目からは、瓜生氏が迎えに来てくれて、外食となった。15年前のワシントン滞在で経験したが、アメリカの人たちの日常の食生活はかなりシンプルで、「チーン」が大はやり。因みにオレゴン州には消費税が無い。

### ① City Hall

9:00に市役所へ行く。大きな建物ではない。その中に議場や消防署、警察署もあった。

